

証券コード：5998

ADVANEX NOW

第73期 上半期の業績について

トピックス

- CNT（カーボンナノチューブ）新製品発売
- 社会貢献活動



ADVANEX



「情報の共有化」と「課題の顕在化」を徹底し、ガバナンスとリスクマネジメントを強化していきます。

株式会社アドバンクス
代表取締役社長

かとう せいや
加藤 清也

Q1. 加藤社長は2020年9月24日から新社長に就任されました。簡単に経歴と自己紹介をお願いします。

私は山形県出身で、高校卒業後は大学入学のため上京し、1981年に新卒で当社（当時「株式会社加藤スプリング製作所」）に入社しました。当時の営業トップの「お前は訛っているから仙台だな」の一言で最初は仙台の東北営業所に配属されました。その後20年ほど東北営業所にて勤務し、42歳の時に本社へ異動となり、顧客と共同開発する部門に転属しました。そして、2006年から自動車事業部長を勤めたあと、2009年に営業本部長となり、取締役、常務を経てこの度代表取締役社長に就任いたしました。

Q2. 柴野社長から引き継いでから、経営戦略や方針に何か変更はありましたでしょうか？

基本的には柴野前社長（現会長）の方針を踏襲していま

すが、それぞれの組織が縦割になりがちでしたので、横断的に考えられるよう変えていきたいと思っています。セクショナリズムを排し、それぞれが“お客様目線”で考え、積極的に情報を共有し、みんなで一緒に取り組んで行くようにしています。

Q3. 2021年3月期上期の業績を振り返りましてどのように評価されますか？

上期の業績は新型コロナウイルスの影響から特に5、6月は大幅に下落し厳しい内容となりました。そんな状況の中でも、収益改善の取り組みを行ってきたことで、業績の悪化はかなり歯止めをかけられたのではないかと思います。市場別で見ると自動車向けは5、6月にストップに近いほど減少しましたが、一方で将来の売上に繋がる新規開発案件は旺盛で、EVや自動運転関連の引き合いは多く次世代自動車への転換が加速している印象を受けています。OA向けはオフィス勤務の需要が減少したことから新型コロナウイルスの影響をもろに受けました。

Q4. 新型コロナウイルスの感染拡大により働き方が変わった企業が多いですが貴社ではいかがでしょうか？

報道等で会社における働き方が大きく変わったことが報じられていますが、当社も同様です。オフィスワークの社員全員にWi-Fiルーターやノートパソコンを手配し、在宅でもWebミーティングや情報共有をできるようにしました。社員たちはすぐその環境に慣れて、在宅勤務でありながら情報の質とスピードを落とさずに意思決定ができています。なお、勤怠管理については自己管理能力を求めています。在宅勤務の場合、何の作業を、どこまで進めるかなど、行動計画に落としこんで組織で共有していますので、従来よりも生産性が高まったと感じています。営業活動においては顧客訪問の代わりにWebミーティングを取り入れたことで移動時間と費用が抑えられ、逆に接触件数が増えました。一方、お客様と直接会って信頼関係を築くことも重要

ですので、今後はWebと訪問の使い分けがポイントになると思います。また、展示会出展や顧客工場視察もWebで行うなど、最大限活用しています。

Q5. 今後の事業環境の見通しをどう見ておられますでしょうか？

2020年11月9日に2021年3月期の通期予想を公表しました。新型コロナウイルスの第三波やGoToトラベルの停止など不安要素は多くありますが、今のところ自動車向けの生産活動には陰りの無いことから業績予想の上ブレを狙っています。当社は10年前までは家電や精密、電子デバイス向けに強く、自動車向けは少なかったのですが、昨年度の自動車向け売上高はついに50%を超えました。家電系、電子デバイス系だった当社の顧客が自動車の電子化、EV化の流れにより自動車業界に新規参入するなど業界の垣根を超えた「ボーダーレス化」が進んでいます。当社は変化が激しく、ライフサイクルが半年や1年と短い家電・電子デバイス系の業界で鍛えられてきましたので、自動車業界では機敏で対応力が高いと評価されています。よって元々から自動車向けの競合他社は当社の対応力を脅威に感じていると思います。

Q6. 埼玉工場やメキシコ工場の状況はいかがでしょうか？

埼玉工場は、自動車業界のトレンドである“EV化”や“共通化”などのキーワードとうまくマッチし、今後の新規立ち上げや増産に向けて極めて繁忙な状況です。自動車業界ではスケールメリットによるコスト削減効果を最大化するために、トヨタのTNGAに代表される車種を跨って部品を共通化する設計思想が一般化してきています。当社はその共通化されるキー部品を多く受注しており、今後しばらくは右肩上がりが続くと期待しています。

メキシコ工場は、競合他社の多くがトランプ大統領の就任を境にメキシコ進出を断念したことから“先行者利益”を享受し、非常に多くの新規案件を獲得しています。新型コ

ロナウイルスの影響で1年近くプロジェクトに遅れは出ましたが、2、3年後には収益力が海外子会社の中でもナンバー1になると期待しています。

Q7. 今後期待する製品や分野について教えていただけないでしょうか？

医療向けには大きな期待を抱いています。日本は薬事法が厳しく新薬開発の拠点として向いていませんが、北米と欧州は新薬開発の中心地であることから当社のアメリカ工場とイギリス工場では新規開発案件が増えています。そこで開発された新製品が中国や日本などの需要地に横展開されると相当面白くなってきます。医療市場は、世界の中間・富裕層の人口が現在の10億人から10年後には特に中国、インド、中東地域において拡大し、2、3倍となる見通しがあるなど、自動車や家電市場と比べ格段に伸びしろは大きいと考えています。

また、2017年の事業化以降、粛々と開発を進めてきたCNT（カーボンナノチューブ）ヒーターも、2020年11月ついに最初の製品をリリースしました。それを顧客に紹介したところ、自動車のヘッドライトやミラーの凍結防止装置向けに検討いただくなど、早速具体的な引き合いがあり手ごたえを感じています。今後は展示会などに出品し、多くの業界で広く認知してもらい、思いもつかないような画期的な用途で採用してもらうことを期待しています。

Q8. 株主の皆様へ何かメッセージをお願いいたします。

当社はまだまだたくさんの解決すべき課題を抱えていますので、それらを一つ一つ丁寧に解決していくことで企業体質の強化を図ってまいります。社員には自由闊達に、忸度せずに、問題を顕在化させることを求めていますので、これまでに多くの課題を認識することができました。解決方法や収益改善の道筋は見えていますので、株主の皆様は今後の当社にご期待いただきたくお願い申し上げます。

業績ハイライト

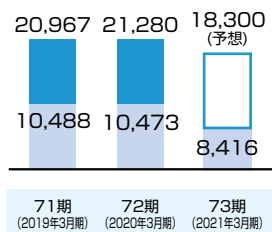
業績ハイライト

■ 第二四半期累計

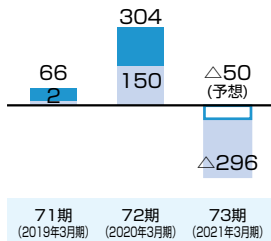
■ 通期

(単位：百万円)

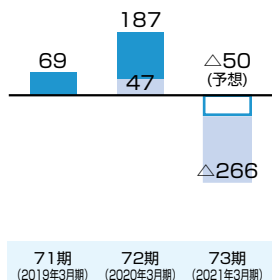
売上高



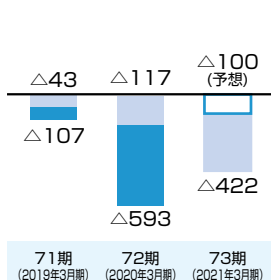
営業利益



経常利益



当期純利益



業績総括

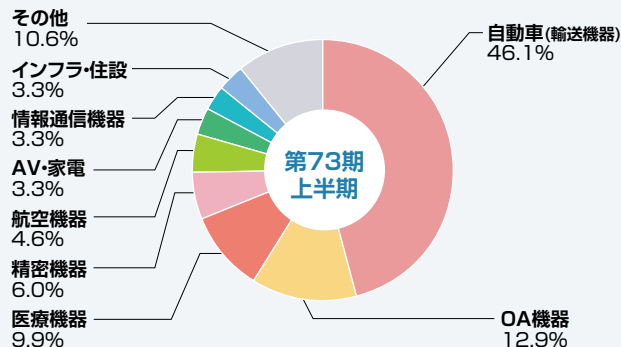
当期の当社グループの業績は下記のようにになりました。

- 売上高 84億16百万円
- 営業利益 △2億96百万円
- 経常利益 △2億66百万円
- 当期純利益 △4億22百万円

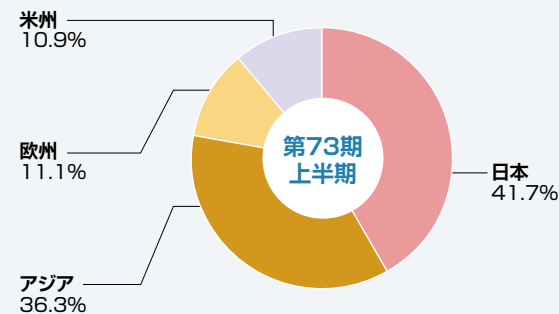
73期第2四半期連結累計期間の業績につきまして、売上高は前年同四半期比19.6%減の84億16百万円となり、営業損失は2億96百万円（前年同四半期は1億50百万円の利益）、経常損失は2億66百万円（前年同四半期は47百万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は4億22百万円（前年同四半期は1億17百万円の損失）となりました。新型コロナウイルスの影響により4～6月売上は前年同期比大幅に減少しましたが、7～9月は自動車向けを中心に回復軌道に戻りました。また、同ウイルスの影響により世界の各工場において4～6月は需要の減少、移動制限令、稼働停止令などによる稼働率の低下で生産ロスが発生し大幅な赤字となった一方、7～9月は固定費削減の取り組みが奏功したことなどから営業利益では黒字に戻しました。

売上高構成比

市場別売上高構成比

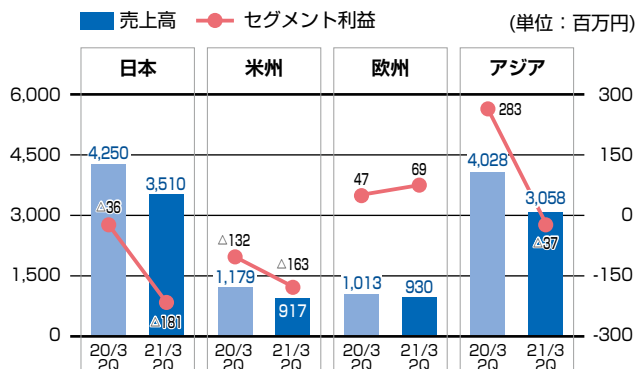


地域別売上高構成比



※各売上高構成比は、小数点第2位以下を四捨五入しております。

所在地別売上高・セグメント利益



連結貸借対照表(要約)

(単位: 百万円)

	第72期 2020年3月31日現在	第73期 第2四半期 2020年9月30日現在
資産の部		
流動資産	10,566	9,719
固定資産	11,559	11,346
有形固定資産	10,866	10,676
無形固定資産	88	73
投資その他の資産	604	596
資産合計	22,125	21,065
負債の部		
流動負債	9,866	9,161
固定負債	7,260	7,327
負債合計	17,127	16,488
純資産の部		
株主資本	5,754	5,300
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	250	250
利益剰余金	4,610	4,148
自己株式	△105	△97
その他の包括利益累計額	△789	△747
新株予約権	33	24
純資産合計	4,998	4,577
負債純資産合計	22,125	21,065

連結損益計算書(要約)

(単位: 百万円)

	第72期 第2四半期累計 自2019年4月1日 至2019年9月30日	第73期 第2四半期累計 自2020年4月1日 至2020年9月30日
売上高	10,473	8,416
売上原価	7,959	6,681
売上総利益	2,513	1,735
販売費及び一般管理費	2,362	2,032
営業利益又は営業損失(△)	150	△296
営業外収益	61	151
営業外費用	163	121
経常利益又は経常損失(△)	47	△266
特別利益	2	1
特別損失	99	64
税金等調整前四半期純損失(△)	△49	△329
法人税等	68	92
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△117	△422

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位: 百万円)

	第72期 第2四半期累計 自2019年4月1日 至2019年9月30日	第73期 第2四半期累計 自2020年4月1日 至2020年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	400	415
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,239	△245
財務活動によるキャッシュ・フロー	547	△357
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,496	1,766

CNT（カーボンナノチューブ） 新製品発売

当社は2017年のCNT（カーボンナノチューブ）事業の発足以来、研究開発および新製品開発を行ってきました。この度、同事業において初となる新製品「HEATNEX® HBL15-R200」を発売しましたのでご紹介します。HEATNEX®とは当社が販売するCNTを使用した面状発熱体製品のブランド名であり、当社の商標として登録されています。HEATNEX®は従来型のニクロム線発熱製品に比べ遠赤外線量が5倍であり広範囲を温められる他、省電力性に優れているなど多くのセールスポイントがあります。当社はエンジンの廃熱を暖房に利用できないEV（電気自動車）のシートヒーターなど、その特性を活用できるあらゆる分野に採用されることを期待しています。



社会貢献活動

当社の海外子会社であるAdvanex (Singapore) Pte. Ltd. は、高齢者、障害者、低所得家庭、移民労働者などに食料を届けるボランティア活動を行いました。シンガポールは経済の発展した豊かな国とのイメージがあるかもしれませんが、日本よりも貧困率は高く、毎日の食事にも不自由をしている「絶対的貧困層」は人口の10%程度存在します。ボランティア活動で準備した食料は全部で100人が二ヶ月ほど食べていける量にのびりました。新型コロナウイルスの感染拡大により今年は活動を危がまれましたが、シンガポールでは比較的



感染者数が抑えられたこともあり、感染防止策を施しながら実施しました。

会社名 株式会社アドバネクス(Advanex Inc.)
本社所在地 〒114-8581
東京都北区田端六丁目1番1号
設立 1946年11月
資本金 1,000百万円
事業内容 精密ばね等の製造販売
従業員数 連結：1,896名
単体：373名

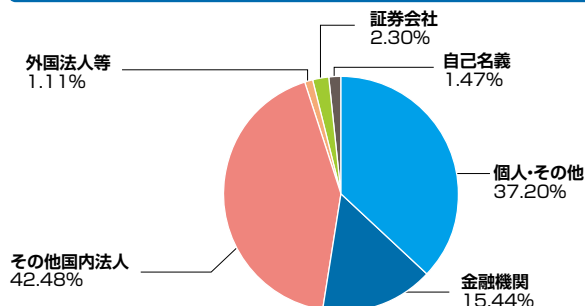
株式の状況

(2020年9月30日現在)

会社が発行する株式の総数 12,500,000株
発行済株式の総数 4,153,370株
株主数 6,240名

所有者別株式分布

(2020年9月30日現在)



大株主

(2020年9月30日現在)

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
AAA株式会社	300	7.22
加藤雄一ホールディングス株式会社	280	6.75
スマート有限会社	231	5.57
アーク株式会社	205	4.94
ART株式会社	200	4.82
株式会社三菱UFJ銀行	198	4.79
エース株式会社	142	3.42
株式会社日本カस्टディ銀行（信託口）	132	3.18
ASADA株式会社	97	2.35
スマイル株式会社	94	2.27

(注) 当社は自己名義株式を61,004株（1.47%）保有しています。
また、持株比率は自己株式を含めて計算しております。
各持株比率は小数点第3位以下を四捨五入して計算しております。

株式インフォメーション

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金はありません。
株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎ 0120-782-031
インターネットホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告方法	当社のホームページに掲載します。 https://www.advanex.co.jp/ir/public-announcements/ ただし、事故その他やむを得ない事由がある場合、日本経済新聞に掲載します。
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部（証券コード：5998）

株主総会決議通知の発送を取り止め、本総会の結果は当社ホームページ（<https://www.advanex.co.jp/ir/>）に掲載させていただく予定です。

マイナンバー制度に関する手続きについて

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続きで必要となります。このため、株主さまからお取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書には株主さまのマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

主な支払調書

- 配当金に関する支払調書
- 単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

- 証券口座にて株式を管理されている株主さま
お取引の証券会社までお問い合わせください。
- 証券会社とのお取引がない株主さま
下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。
三井住友信託銀行 証券代行部 ☎ 0120-782-031